



日口交流

発行: 特定非営利活動法人日口交流協会

E-mail: nichiro@nichiro.org

Home Page: <http://www.nichiro.org>

〒106-0041 東京都港区麻布台3-4-14

麻布台マンション401号

Tel : 03 (5563) 0626 Fax: 03 (5563) 0752



春の散策in井の頭公園

安部 花子

5月27日、井の頭公園での日帰り散策ツアーに参加しました安部と申します。この日は暑すぎず寒すぎず、爽やかな新緑の香りがおいたつ素晴らしい晴天で、コロナ期間のみんなの辛抱が報われるような、お出かけ日和の一日となりました。

参加者は30名程度、まずは井の頭公園を散策しつつ井の頭動物園に向かい、かわいい動物たちを見学します。園内施設の一室を借りてみんなでランチ

パーティーを楽しんだあとは、三鷹の森ジブリ美術館で宮崎駿ワールドを堪能。近年、ジブリ美術館は入場希望者激増のため入場チケットが争奪戦となっており、今回も江本常任理事の指揮のもと、1か月以上前から4~5人のメンバーで連携して予約し勝ち取ったものでした。

動物園では専任のガイドさんが解説ツアーをして下さり、ただ見て回るだけでは知りえなかったような動物たちの生態についても理解が深まります。「この動物は日本だと〇〇だけどロシアだと〇〇なんだよ」、といった、日本人だけでなくロシア人にとっても楽しめるような説明をして下さり、参加者一同、大変興味深い様子で聞いていました。特にみんなが夢中になっていたのは、なんとといってもアムールヤマネコ!ロシアの有名な河川の名前を冠したこのヤマネコは日本のツシマヤマネコと近縁であり、ロシア人研究者が井の頭動物園に視察に来たり、また井の頭動物園の職員がロシアへ視察に行ったりと、昔から繁殖研究のための交流が続いているとのこと。こんなところにも日本とロシアが協力して成し遂げているものがあることを嬉しく思いました。世界情勢に左右されずに今後も協力関係を継続して行ってほしいです。

ランチパーティーでは各自お弁当を持参するスタイルだったのですが、岩橋理事が黒パンサンドイッチやヒマワリの種をふるまって下さり、ちょっぴりロシアンテイストなピクニックを楽しむことができました。みんなで美味しく食事したのち、自己紹介を交えつつゲームなどの交流会で親睦を深めます。

私はいつも交流協会でのイベントで楽しみにしていることがあります。もちろん、なんとといってもロシア人参加者と交流することが楽し



みではあるのですが、同じくらい興味深いのは、他の日本人参加者がロシアに興味・関心を持ったきっかけを聞くこと。今回はロシア人よりも日本人参加者の比率が高かったのですが、皆さんのロシアとのかかわり方は本当に十人十色でした。ロシアで働いていた人や留学していた人を

はじめ、ロシアを対象として研究している人、たまたまロシアに旅行に行つてロシア語に興味を持ち勉強している人、ロシアに一度も行ったことがないけれどもなぜかずっと心の中で惹かれていた人…私もロシアファンの1人ですが、ロシアと無関係の場でロシア好きを公言すると、たいてい「ユニークだね」「変わっているね」といったような反応をされます。(その万人受けしないミステリアスな感じもまた、私にとってはロシアの魅力の一つなのですが。)

しかし、今この場にいる人たちはみんなロシアに興味・関心がある人ばかりが集まっていて、その共通点だけで私たちはすでにТоварищ (同志)、職業・年齢・性別・国籍の違いもすべて飛び越えて、親近感がわきます。ロシアには全く興味がないけれど友人の紹介で参加した方もいらっしゃいましたが、この世界情勢のさなかロシアというだけで拒否反応を示すことなく参加してくれただけでも大変嬉しく、そういう小さなきっかけから相互理解が深まっていくものなのではないかとも思いました。

各種イベントが中止になったり、自粛したりせざるを得なかったコロナ期間がようやく明けて、久しぶりの本格的な交流イベントだった今回。こんな世界情勢でも、ロシアが好きで興味・関心を持っている日本人もやっぱりたくさんいるのだという事実を改めて再確認でき、充足感のある一日を過ごすことができました。大人数のとりまとめは大変な手間と労力だったかと思いますが、献身的に本イベントの実現にご尽力くださった江本常任理事をはじめ、運営の皆様にご感謝申し上げます。今後もこのようなイベントの開催を楽しみにしております。